

新年のご挨拶

一般社団法人青森県薬剤師会
会長 白滝 貴子



青森県薬剤師会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃より本会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は地震や豪雨などの災害が相次いだ中、皆様のご協力のもと本会として能登半島への支援に取り組むことができました。被災地の皆様が一日も早く日常生活を取り戻せるよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、2025年は、地域包括ケアシステムの構築を目指す目標年として、地域医療のさらなる充実が求められる重要な一年です。青森県においても、地域住民が住み慣れた地域で安心して生活を続けられる環境づくりに向け、薬剤師が医療・介護を支える中核として専門性を発揮することが期待されています。本会としても、地域包括ケアを支える薬剤師の育成と、多職種連携の推進に引き続き注力してまいります。

また、昨年本格化した第8次医療計画では、災害時医療体制の強化も大きな柱の一つです。本会は、災害薬事コーディネーターの役割を担う薬剤師の育成を進め、昨年10月6日に締結した県との災害協定を基盤に、災害時における医薬品供給や情報調整体制の充実を図ります。災害時でも地域住民の安心を守る薬剤師として、信頼に応えられる体制を整備してまいります。

さらに、青森県では過疎化や高齢化が進む中、薬剤師の不足が地域医療の課題となっていることから、本会は、県や病院薬剤師会と協力し、薬学生への支援、地元での就職促進、就労環境の改善などを通じて、若い薬剤師が地域に定着し活躍できる環境づくりを進めてまいります。この取り組みが地域医療の持続可能性を高める重要な一歩となるよう、全力で取り組んでまいります。

加えて、薬物の過剰摂取（オーバードーズ：OD）や健康食品による健康被害といった社会課題にも対応すべく、薬剤師としての専門知識を活かし、住民への啓発や正確な情報提供を強化してまいります。地域の健康を守る薬剤師の役割をさらに広げるべく、皆さまとともに力を合わせて取り組んでまいります。

2025年が、会員の皆様にとって健康で実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も青森県薬剤師会として皆様とともに歩んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。